

令和4年度 事業報告書

1 事業概況

企業に70歳までの就業機会確保の努力義務を課す改正高年齢者雇用安定法の施行により、高齢者の就業率は増加傾向にあります。一方ではその影響で、全国的にシルバー人材センターの会員数は減少傾向であり、新規入会者の高齢化が進展しています。

このような中、公益社団法人宝塚市シルバー人材センター（以下、「センター」という。）は、宝塚市広報誌記事と連携したPR活動を行い、民間商業施設等で出張相談会を開催して会員の増強を図るとともに、市役所前ひろば緑地管理業務の新規受注や、市立自転車駐車場の指定管理業務を民間企業と共同で受注するなど、多様な就業機会の確保に努めました。

結果としては、実績において、公共区分で5.8%、民間区分で9.8%の減となり、全体では8.1%減少しました。会員数については2.7%の増で、女性会員も増加しています。

以下、各事業の概要、並びに結果について、次のとおり報告します。

2 重点施策の推進結果

(1) 情報の収集と提供

センター事業に関する地域のニーズや関係機関からの制度改正等の情報収集に努め、これらの情報は適宜センターの会報やホームページ等を通じて提供を図りました。

(2) 就業調査と研究

請負、委任又は派遣等の就業形態別による働き方の自主点検を継続的に行い、就業の適正化に努めました。また、会員の就業意向調査や発注者の利用満足度調査を行い、サービスの向上と就業機会の拡大を図りました。

(3) 就業相談の実施

会員に限定しない高齢者の相談窓口を常時開設し、センターへの入会案内や就業相談、各種講習会を通じた雇用支援等を行いました。またワークサポート宝塚に案内ブースを設置したほか、商業施設内等で臨時の出張相談会を実施しました。

(4) 就業機会の確保と提供

普及啓発促進月間を設け事業開拓委員会、地域班等センターの組織を挙げて事業の拡大を図りました。また、就業期間を設けた交代就業によるワークシェアリングの推進や個別就業相談会を通じた仕事のミスマッチ解消のほか、シルバーの

日の事業やシルバーフェアの開催により、認知度向上と就業機会の拡大に取り組みました。

(5) シルバー派遣事業及び職業紹介事業の実施

公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会（以下「兵シ協」という。）の実施事務所としてシルバー派遣事業及び職業紹介事業を実施しました。

(6) 会員の資質と技術の向上

多様な地域ニーズに適切に応えるため、接遇マナー等の各種講習会や勉強会を通じて資質と技術の向上を図り、地域に信頼される就業の推進と安全で適正な業務の遂行に努めました。

(7) 会員の拡大と確保

会員の声かけ運動をはじめ、市の「広報たからづか」に活動紹介記事掲載等によりセンターへの入会促進を行いました。また、毎月定例の入会説明会や、市内各所での臨時相談会により、新規入会の拡大を図りました。

(8) 安全・適正就業の推進

「安全はすべてに優先する」を合言葉に、安全巡回指導をはじめ安全就業対策の点検、各種安全講習会や健康増進の啓発等、あらゆる機会を通じて事故防止と安全意識の高揚に努めました。また、厚生労働省監修の就業形態別ガイドラインを活用して、安全・適正就業のさらなる徹底を図りました。

(9) 組織・財政基盤の強化と連携

理事会の機能強化を図り、専門委員会や地域班、会員互助会等の自主的運営を推進し、関係機関との施策連携事業の継続や専門家による役職員への指導体制のもと、より計画的かつ効率的な事業運営に努めました。また、他企業との新たな共同事業や、拠点施設のあり方の検討に取り組みました。

(10) 設立 40 周年記念事業の実施

センターは昭和 57 年 10 月 1 日に設立され、令和 4 年に設立 40 周年を迎えました。また、平成 24 年 4 月に公益社団法人に移行して 10 年を経ました。地域に根ざした法人として、市民や宝塚市をはじめ関係機関に向け、これまでの感謝の意を表し、今後の一層の支援を賜るべく、記念事業を企画し実施しました。